

ホテルプリンス火災 続報 - 西日本防災システム

出火原因特定か！！

2012年5月に宿泊客7人が死亡した広島県福山市のホテル「プリンス」の火災で、福山地区消防組合消防局が出火元を1階受付兼事務所の机付近と特定したようです。

電気スタンドのコードがショートした可能性があるようです。同消防局は今月上旬、総務省消防庁にこれまでの検証内容を伝えています。

火災発生直後の広島県警の捜査では、事務所壁内の複数の配線にショートの跡が見つかったことから、出火元が壁内部である可能性が高いと指摘されていました。

ですが、同消防局のその後の調査で、事務所内の机に隣接する外壁に、激しく燃えたことを示す白い変色があったことなどが判明し、この壁の事務所内側が出火元であると判断したようです。現場の状況から、出火原因はたばこの不始末や放火ではなく、電気関係とみられ、机に備え付けられた電気スタンドのコードがショートした可能性が高いようです。

この火災については、県警が業務上過失致死傷の疑いで捜査しており、当時のホテル経営者の女性(64)の刑事責任の有無などを調べています。

どこにでもある原因ですので今後の捜査に注意したいですね！



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 